

府民連学習会

府民の多くが反対するカジノを推進、そのために知事の一声で万博会場を危険な「夢洲」に決定、府政を歪め続ける維新政治…

# 森友学園問題の現局面と大阪

8月7日(木) 午後6時30分～

大阪グリーン会館中ホール

オンラインでも配信予定です。  
Email、FAX等で申し込みをお願いします。



お話 宮本たけしさん  
(日本共産党前衆院議員)

2017年2月、森友学園問題を国会で初めて質問。疑惑を隠し続ける自公政権を厳しく批判、問題の核心に迫ってきました。森友追及の第一人者です。

## 森友学園問題の“発火点”は大阪

大阪・豊中市の国有地が、安倍首相(当時)の妻や政治家の介在で、8億円も値引きされ、ただ同然で森友学園に売却。介在の事実を隠すために公文書を改ざんした主主義の根幹にかかわる事件が「森友学園問題」です。

政治家の関与部分が隠され、欠落するという問題を抱えながらも、国では、関係文書の開示が始まっています。

ところが、森友問題の“発火点”・大阪では全くの闇のまま。国有地が破格の安値で売却されたのは、森友学園による小学校建設のため。そして、基準を緩和して、さらに学園の財務状況など審議会でも異論が出るなか、小学校設置を認可したのが松井知事時代です。森友学園問題の背景や現局面を詳しく学び、大阪での隠された部分を明らかにし、府政の歪みを正しましょう。

府の開示公開は黒塗りばかり